

# ドロップ・サイト・デイリー、3月17日：イスラエルは、イランの治安当局の最高幹部を殺害したと発表；パキスタンによるカブールでの爆撃で数百人が死亡；トランプ政権の経済封鎖下でキューバで大規模停電が発生

脇浜義明訳 \*脚注は訳注

## イラン戦争

**\*イスラエル、イランの安全保障機関幹部を殺害と発表：**17日、イスラエルは、イラン最高国家安全保障会議のアリー・ラリジャーニ議長と、民兵組織バシジのゴラムゼラ・ソレイマニ司令官をそれぞれ空爆で殺害したと発表した。イスラエルのイスラエル・カッツ国防相は、「ラリジャーニとバシジの司令官を昨夜排除し、同じように排除した悪の枢軸の者たちと一緒に、イスラエル殲滅計画の主のハメネイがいる地獄の底に落ちた」という声明を発表した。これを書いている時点ではイランは両人の死亡の確認も否定もしていない。もしラリジャーニ議長の死亡が本当であれば、開戦初日の最高指導者アリー・ハメネイ師とその家族が殺害されて以来のイランの最高幹部の殺害となる。元国会議長で上級政策顧問も務めたラリジャーニ議長は、トランプ政権との核交渉でハメネイ師の助言者であった。彼が最後に公けの場に姿を見せたのは13日のテヘランで開かれた「バレスチナ・デー」であった。ラリジャーニ議長の事務所は、スリランカ沖で米潜水艦の攻撃を受けて死亡したイラン人船員を追悼するラリジャーニ議長がペルシャ語で書いた書簡を公開した。民兵組織バシジのソレイマニ司令官は、他のバシジ指導者とともに戦闘テントの中にいる時に空爆で殺害したとイスラエルが発表した。

**\*米・イスラエルの攻撃で民間人死亡：**地元報道によれば、米・イスラエルのミサイルが、イラン中部のアラク近郊のアムラバードにある民家に直撃し、就寝中の家族4人が死亡した。生後3日の乳児、2歳の姉、母親、祖母の4人である。多くの報道によると、新たな米・イスラエルの空爆が17日の朝テヘランを襲った。テヘラン東部のピルージ通りや北部ニアヴァラン地区などいくつかの場所の被害を映した動画やSNSへの投稿があると、BBCが報じている。16日には、イスラエル軍がテヘラン市内の政府関係の経済事務組や近くの民間商店——パン屋、スーパーマーケット、銀行を爆撃した。

**\*米・イスラエルの攻撃でテヘランの住宅1万2000戸が被害：**メフル通信によると、テヘランのモハンマド・サデグ・モタマディアン知事は、米・イスラエルの攻撃でテヘランの住宅少なくとも1万2000戸が全壊または部分損壊したと述べた。イラン文化遺産省によると、イラン国内の博物館、史跡、文化施設が少なくとも56箇所が被害を受けた。

**\*民間人の犠牲多大：**国際赤十字社のイラン代表のヴィンセント・カサールは[声明](#)を出し、イランの民間人が「大きな代償」を払っていると述べた。「私は最近の攻撃激化がイランの人々に与えている大きな緊張を毎日目にしている。自分の命、愛する人の安全、生計手段が脅かされているのだ。多くの命が奪われている。民間インフラが壊され、多くの家屋が崩れている。テヘランの人々の生活は無茶苦茶に破壊されている。子どもは学校に行けず、企業は休業している」と言った。

**\*フジャイラにドローン攻撃：**ロイター通信とCNBCによると、16日早朝にUAEのフジャイラ港の石油産業地区がドローン攻撃を受け、火災は今も続いている。このため、アブダビ国営石油会社(ADNOC)は原油積み込みを一時停止した。同日、英国海事貿易業務局(UKMTO)によると、オマーン湾のファジャイラ沖23海里に停泊していた商船タンカーが正体不明の飛翔体の攻撃を受けた。軽微な物的損傷があったが、負傷者は出なかった。これらの事件は、14日に起きたドローン攻撃による火災に続くもので、港湾業務が一時停止に追い込まれた。

**\*イラクへの空爆でイラクの武装組織「人民動員部隊」(PMF)戦士が死亡：**AP通信によると、米・イスラエルの攻撃と思われる空爆でアンバル州でPMFの戦闘員が少なくとも8人が死んだが、犯行声明はどこからも出ていない。最も死傷者が多かったのはPMFの検問所への攻撃で、6人が死亡、同じアンバル州の旅団指令部も攻撃された。イランと連携している民兵組織カタイブ・ヒズボラ<sup>1</sup>も上級幹部1人が死亡したと発表した。バグダッドのグリーンゾーンにあるラシード・ホテルと、バスラ県のマジュヌーン油田もドローン攻撃を受けたが、物的被害はあったが死傷者は出なかった。米・イスラエルの攻撃激化に対応してイランは反撃を続けており、ロイター通信の報道では、イランのシャヘド136型ドローン2機が米国大使館構内を攻撃したが、死傷者の報告はない。

<sup>1</sup> 国営の準軍事組織PMF内の一部を占めている。その意味で政府指揮下にあるが、政府が米軍への攻撃をやめよと言っても、言うことを聞かない。

**\*ドーハとドバイで爆発：**アブダビで空から落ちてきた破片でパキスタン人1人が死亡した。AP通信によると、ドーハとドバイで爆発が報告され、イランの攻撃が続くものとして地域防空システムが作動し、カタールは少なくとも1発のミサイルを迎撃したと発表した。

**\*イラン、ホルムズ海峡航行を限定的に許可：**マリン・トラフィックによると、イランはこの24時間で少なくとも4隻の船舶のホルムズ海峡通過を許可した。通常の国際航路でなく、イラン領内のラク・ゲシュム水路を経由するルートを行かせた。許可された船舶は、ばら積み貨物船3隻と、アブダビ産原油を積んだパキスタンのアフラマックス型タンカーである——これは、AIS（船舶自動識別装置）信号を発信してこの難所を通過した初の非イラン船舶である。

**\*トランプ大統領、テヘラン大集会是AIによる捏造と主張：**トランプ大統領は、イランの新最高指導者モジタバ・ハメネイ師を支持するテヘラン大集会を「完全にAIによる捏造」だと主張した。しかし、ニューヨークタイムズ紙など多くの国際メディアが検証した写真や映像には、革命広場に数万人が集まっている様子が映っている。この報道に関し、トランプ大統領は、反逆罪を適用するとか、連邦通信委員会（FCC）の免許審査を行うなどと示唆した。彼はイランが人工知能を「偽情報兵器」として使用していると言い張った。

**\*イラン議会議長、ホルムズ海峡の安全保障は永久に変化したと発言：**イラン議会のモハンマド・バゲル・ガリバフ議長は、ホルムズ海峡の安全は「これまでと同じではない」と言った。彼は米国をイスラエルの影響に屈したと非難し、トランプ大統領は「自暴自棄になって1日に何度も嘘ばかりついている」と述べ、イランが中東地域の米軍基地すべてを攻撃したと主張した。ガリバフは「中東地域の様子と秩序は変化しつつある」と言って、中東諸国はもう米国に従属しないで、自らの安全保障と経済を形成する方向へ向かうだろう」と主張した。

**\*イラン、米国の交渉要請を無視：**イラン当局者はドロップ・サイトに対し、トランプ政権はスティーヴン・ウイトコフ特使を通じてこっそり協議を求めながら、イランが交渉を望んでいるという嘘をばらまいていると語った。イラン政府は、自国及びイラクとレバノン等の同盟者への攻撃をしないという確証が得られた場合にのみ、停戦を検討すると言った。「こちらのメッセージは明白だ。我々ともう一度直接交渉するという扉は、閉ざした」と言った。イランがそうするのは、米国が「イラン政治体制の交代という目的を達成する為に、外交と戦争圧力を組み合わせて、一時的停戦を提案している」ように見えるからだと説明した。イランのアブバス・アラグチ外相は、彼がスティーヴン・ウイトコフに戦争を終わらせる協議をしたいというメッセージを送ったという米政府の主張を報じたアクションのニュースを、事実無根であると否定した。彼は、自分がウイトコフ特使と最後に会ったのは、米政府が「イランへの違法な軍事行動を行って、外交交渉を葬る決定をした」前だったと言って、米政府の主張は「石油会社と一般市民を騙すものだ」と言った。この件に関する詳細な報告は[こちら](#)。

## レバノン

**\*死傷者数：**レバノン保健省によれば、3月2日以降のイスラエルの攻撃による死者は少なくとも886人となり、そのうち111人が子どもである。

**\*避難民急増：**政府の発表では、3月2日以降のイスラエルの空爆と地上侵攻で、避難民が100万人以上、つまり人口の約5分の1となった。

**\*レバノン兵3人死亡：**17日のレバノン軍の発表では、南レバノンのナバティエで車とバイクで移動していたところへのイスラエル軍の空爆で、兵士3人が死亡し、4人が負傷した。

### \*レバノン各地へのイスラエルの爆撃：

・国営通信によると、17日、南レバノンのアル・ジュマイジマへの空爆で2人が死亡し、近郊のビント・ジュベイルへの空爆で3人が死亡した。

・16日夜、ベイルート南部郊外で、改めて強制退去命令が出された後、イスラエル軍の空爆が数分間隔で2回あった。また、アラムーン住宅ビルも空爆された。・L'Orient Todayによれば、16日朝イスラエル軍は、ナバティー地区のクファ

---

<sup>2</sup> 3月13日に、空爆下にもかかわらずイラン指導者の多数参加した民衆集会で、好例の「パレスチナ・デー」（国際クッズ・デー）のことで、パレスチナ連帯、米・イスラエルへの抗議、国民の団結、モジタバ・ハメネイ師支持を掲げた。

ル・シルで、前の空爆に対して怪我人などを救出していた救急車を標的に、救急隊員3人を殺害した。この救急車はイスラム保健委員会のもので、ベイルート時間午前9時31分に攻撃された。これで、3月2日以降、イスラエル軍に殺害された医療従事者の数は35人となった。

**\*国境沿いで接近戦闘：**レバノン南部ではヒズボラ戦闘員とイスラエル軍との間で接近戦が続いている。地元メディアは、丘の上の町キアムでは激しい戦闘が起きていると報じている。イスラエル軍がキアムを支配しようとしたが失敗した。クファル・シュバに侵攻したイスラエル軍部隊は、町の郊外の住宅を砲撃し、住民1人を身柄拘束した後、近くの高地へ撤退したと、地元メディアが報じた。ヒズボラはこの24時間の間にイスラエルの戦車5台を攻撃したと発表した。タイベでは戦車の砲弾を直撃させた。また、キアムのスタジアムと拘留所付近のイスラエル軍陣地にロケット弾を発射した。

**\*国連平和維持軍、イスラエル軍がレバノン南部で軍増強したと発表：**国連レバノン暫定軍 (UNIFIL) は、イスラエルが南レバノンのブルーライン付近の6箇所「明らかな」軍増強をしたことを確認したと発表した。UNIFIL は、戦闘が続いているために行動が制限され、状況の監視が難しくなったと言っている。イスラエルの軍備増強は16日のメディア報道でも確認されている。ミドルイースト・モニターによると、イスラエルは地上侵攻のために最大45万人の予備役兵の動員を検討しているという。BBCは前に26万人の増員を報道したが、それを大きく上回る数である。

**\*欧州首脳、イスラエルのレバノン攻撃に警告：**カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、英国は16日に共同声明をだし、イスラエルの「大規模な」レバノン攻撃は避けるべきだと言った。「イスラエルによる大規模な地上攻撃は壊滅的な人道被害をもたらす、長期にわたる紛争になる恐れがある」と述べた。「我々はレバノンにおける暴力激化を深く憂慮しており、政治的に持続的解決を目指す交渉をするように、イスラエルとレバノンに要請する。」

**\*イスラエルの攻撃で、レバノン救急隊員が死亡：**イスラエル軍によるレバノン救急隊員を標的にした攻撃にもかかわらず、任務を遂行すると公言した救急隊員のハジ・カセム・スルタンは13日、南レバノンのブルジュ・カラウィヤにあるスラム保健局の医療センターがイスラエル軍の攻撃で破壊されたとき、死亡した。この攻撃では、医師、救急隊員、患者など12人が死亡した。「たとえ私たちが次々を殺されても、任務を放棄しません。私たちはキアム、マルジャユーン、アッタイベ、デビーン、および私たちの聖なる土地すべてに奉仕を継続します」イスラエルによるレバノンの医療従事者への攻撃について、ドロップ・サイトの寄稿者リラ・ユネスによる最新レポートは[こちら](#)。

## ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

**\*死傷者数：**過去24時間のイスラエルのガザ回廊各地への攻撃で、パレスチナ人2人が死亡、20人が負傷した。2023年10月7日以降の犠牲者累計は、死者72,249人、負傷者171,898人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる停戦初日の2025年10月11日以降、イスラエル軍のよる殺害は673人で、負傷者は1,799人となった。瓦礫の下から回収された遺体は756体となった。

**\*イスラエルのガザ虐殺は続く：**パレスチナ赤三日月社によれば、17日、ムワシ・ハーン・ユニスで走行中の車両をイスラエル軍が空爆し、2人が死亡し、12人が負傷した。16日には、イスラエル軍はガザで少なくとも2人のパレスチナ人を殺害した。ハーン・ユニスのナセル病院付近でバハア・アル・カーラがイスラエル軍狙撃兵に撃たれ、ガザ回廊北部ベイト・ラヒアでモハンマド・ワルシュ・アガという子どもが腹を撃たれた。また、ユニス・エリヤンが殺害され、4人が負傷した。ベイト・ラヒアでは、アムナ・スブという女性が狙撃兵の銃撃で重傷を負った。

**\*イスラエル軍、西岸地区ラマッラー近郊で少年2人を殺害：**3月16日、占領軍は、ラマッラー北東のトゥルムス・アヤ入口付近で16歳の少年、ファティ・サホウリとサリム・ファクハを射殺した。パレスチナ赤三日月社によれば、イスラエル軍は赤三日月社の医療チームが負傷者に近づくのを、立ち入り禁止軍事区域の指定地だと言って、阻止した。その後、イスラエル軍は、近くの町シンジルを襲撃、家屋や商店をガザ入れした。

**\*ヨルダン溪谷で入植者がパレスチナ住民を襲撃：**ヨルダン溪谷北部のヒルベト・フムサで入植者が住民を夜間襲撃した。ハアレツが取材した目撃証言によると、数十人の覆面姿の入植者が集落に押し入り、住民を縛り、家族の目前で性的暴行を行った。住民や国際活動家は、入植者たちは男性、女性、少女を殴打し、女性へ強姦、子どもへ殺害を脅迫し、村人を結束バンドで縛り、目隠しをして、暴行したと恐ろしい光景を語った。6人が治療のために搬送された。その後イスラエル軍が被害に遭ったパレスチナ人を逮捕し、不法入植者は現場を去ったと、住民が言った。

## 米国ニュース

**\*政府がイスラエルの言うがままになっているとして、高官が辞任：**17日、トランプ政権の重鎮の国家テロ対策センター長官のジョー・ケントが辞任した。彼は「良心に照らして、イラン戦争を支持することはできない。イランはわが国にとって差し迫った脅威ではなく、この戦争はイスラエルと米国内の強力な親イスラエル・ロビーの圧力で始まったことは明白である」と言った。トランプ政権内では、イスラエルが米国内を対イラン戦争に踏み込ませたことを指摘した指導者は何人かいるが、ケントは米国内のイスラエル・ロビーの強力な影響力を直接的に指摘し、この紛争が不正な動機で始まったことを示唆した最初の高官である。

**\*ゴットハイマー議員の戦争権限決議案の採決への機運が高まる：**親イスラエル派のジョシュ・ゴットハイマー下院議員（ニュージャージー州民主党）は、プレスリリースで、自分が提出した戦争権限決議案の採決を強行する意向を表明した。この決議案は、先に提出された政府の戦争遂行を止める決議案（ロー・カンナ議員とトーマス・マッシー議員の共同提案）を弱める対抗策として出されたものである。採決は早ければ来週木曜日に行われる可能性がある。もし可決されれば、カンナ・マッシー決議案が提示した日から30日後の、3月30日までに政府の違法戦争を終結するという期限が明記されている。

**\*合併のさなか、CEOは巨額の報酬を受け取り、従業員は解雇：**ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーのCEOデビッド・ザスラフは、トランプ政権が後押しするパラマウントとワーナー・ブラザーズの独占的合併で、8億8700万ドル報酬パッケージを受け取るが、数千人の従業員が解雇されることになる。

**\*イリノイ州で進歩派と特殊利益団体が衝突：**特殊利益団体の資金投入が目立つイリノイ州の民主党予備選は、東部時間17日の午後8時に投票締め切りとなる。バーニー・サンダース上院議員、エリザベス・ウォーレン上院議員、アレクサンドリア・オカシオ・コルテス下院議員ら進歩派政治家は、AIPAC、暗号資産推進ロビー団体、AI推進スーパーPACなどが保守的候補の当選に力を入れているのに対抗して、ジュナイド・アーメドやジュリアナ・ストラットンなどのポピュリスト候補を支持するパンフレットを配布した。

**\*キャット・アブガザレ、全米民主主義基金 (NED)<sup>3</sup>に関するウェブサイトの記述を変更：**今日行われるイリノイ州の民主党予備選挙で、ジャン・シャコウスキー下院議員の後任を目指すキャット・アブガザレは、自分の選挙運動用ウェブサイト「政策」ページを書き換えた。元の記述、ガザ復興において全米民主主義基金 (NED)やその他の海外の能力開発機関と協力するように国務省に求める記述を削除した。彼女は「以前の表現は私の見解や価値観を正確に反映していなかった」と訂正文を載せた。以前から彼女の外交政策に関する見解は問題視されていた。彼女の元外交政策顧問は彼女を「断固なる介入主義者」と批判する意見をドロップ・サイトに言ったことがあるが、それは主にロシアと台湾に関するものだった。今日アブガザレは重要な支持を得た。イルハン・オマル下院議員とラシダ・トレイブ下院議員が、今日の選挙の前に、彼女への支持を表明したのだ。

**\*元米大統領、トランプのイラン攻撃に関する発言を否定：**16日、トランプ大統領は、ある元大統領が自分が在任中にイラン攻撃を行うべきだったと述べたと**言った**。ジョージ・W・ブッシュ、ビル・クリントン、バラク・オバマ等の側近はそのような会話はなかったと述べた。ある観測筋は、これはジョー・バイデンを指しているのではないかと**言っている**。トランプはこの発言を16日二度も繰り返したが、誰を指しているのか明らかにしなかった。

**\*連邦判事、ケネディ保険長官のワクチン政策変更を差し止め：**マサチューセッツ州の連邦判事は、ロバート・F・ケネディ・ジュニア保険長官が実施した一連のワクチン政策変更を**差し止めた**。判事は、予防接種勧告の変更において政府は科学的に確立された手続を無視していると判断したのだ。この判決によって、ケネディ長官が新たに任命した予防接種諮問委員会の決定が一時的に覆され、委員会の今週の会合も中止となった。この判決は、医療団体の訴訟を受けてくださったものである。医療団体は、定期的小児ワクチン接種対象となる疾患数を減らす変更や、新型コロナ・ウィルス・ワクチンの接種制限変更など、一連の変更は恣意的で、公衆衛生を危険にさらすとして起訴した。

<sup>3</sup> : 表向きには「世界の民主主義推進」を掲げているが、米国の地政学的利益に沿った活動をし、CIAの民間版と言われる。

**\*パレスチナ人活動家レカ・コルディア、ICE 拘留から釈放：**コロンビア大学ガザ抗議デモ弾圧で、約1年間移民税関捜査局 (ICE)に拘束されていたパレスチナ人女性レカ・コルディアは、16日、10万ドルの保釈金で釈放されたと、ニューヨークタイムズ紙が報じた。移民裁判官が3月13日に保釈を認めたが、それ以前の保釈判決を政府が妨害したため、3度目の釈放命令となった。ニューヨークのゾーラン・マムダニ市長は、先月コルディア釈放を個人的にトランプ大統領に要請したと述べ、「パレスチナ人の権利擁護のために声を上げたことで1年以上拘束されていたレカが釈放されたことに感謝している」と言った。ドロップ・サイトの寄稿者[アリーバ・ファティマ](#)は、アイダ・アラミヤサンライズ・ムーブメントなど多くの活動家や活動団体がこの結果を求めて辛抱強く努力をしてきたことを指摘した。東エルサレム出身のコルディアは、2025年3月13日、コロンビア大学で開催されたガザ連帯デモに参加した後、ICE に逮捕されたが、後にデモ関連の容疑は取り下げられた。彼女の事件に関する詳細は、こちらの『[ニューヨーカー](#)』誌の[記事](#)を参照のこと。

**\*民間刑務所企業とロビイスト、ICE の拘留拡大から利益：**現在、7万人以上の移民が米国の移民拘留施設の収容されているが、そのほとんどの人には犯罪歴がない。民間刑務所企業の GEO グループやコア・シビックは、連邦政府との移民取り締まりに関する契約から多額の収益を得ている。これらの企業とロビイストは、K ストリート<sup>4</sup>での活発なロビー活動や巨額に政治献金などを含め、連邦政府の政策や拘留施設予算に影響を与えるために数百万ドルを費やしている。Migrant Insider が関連する企業やロビー活動を詳しく[レポート](#)している。

## その他の国際ニュース

**\*アフガニスタン、パキスタン軍のカブール病院攻撃で数百人死亡と発表：**アフガニスタン保健省は、パキスタン軍がカブールの病院を攻撃し、400人が死亡し、約250人が負傷したと発表。ドロップ・サイト・ニュースの寄稿者エムラン・フェロズに対し、攻撃対象は病院自体だと証言した。パキスタン側からの発表はない。

**\*米国、キューバ和平交渉でディアス・カネル大統領の辞任を要求か？：**ニューヨークタイムズ紙によると、トランプ政府は、米・キューバ交渉で意味ある進展を得るためにはミゲル・ディアス・カネル大統領の辞任が必要だと、キューバ側の交渉団に伝えたという。米政府は、政治的譲歩を象徴としてディアス・カネル大統領の辞任を求めるだけでなく、キューバ経済の一部を米企業に開放し、政治犯を釈放するように圧力をかけている。2018年から大統領を務めるディアス・カネルの権限は、キューバの政治権力構造において、かなり限られていると広く見られている。軍と繋がりがある複合企業の GAESA と共産党幹部に権力が集中していると見られている。17日、[トランプ](#)はキューバを「美しい島」と呼び、「私がキューバを統治する栄誉を持つ」と言った。「解放するか、占領するか、正直に言うと、私はキューバをどうにでもできると思っている」と言った。

**\*燃料不足で、キューバ全土で停電：**エネルギー鉱山省によると、16日、全国的電力供給システムの「完全遮断」のため、約1100万人に影響を与えた全島停電となったと発表した。政府は、これは米国が石油供給国に圧力をかけてキューバに深刻な燃料不足を引き起こさせているのが原因の危機だ説明し、今のところ電力は太陽光発電、天然ガスで老朽化した火力発電所に頼るしかないと言っている。全国的停電は18カ月間で6回目で、病院では手術延期が数万件発生し、復旧作業には数日間かかると国民に説明している。17日には、電力システムは徐々に復旧し、島の大部分で電力サービスが再開されたと発表された。

**\*ロンドンで「アル・クッズ・デー」(パレスチナ・デー) 集会のシュプレヒコールを警察が捜査：**ロンドン警視庁は、15日のロンドン中心部で行われた「アル・クッズ・デー」集会で、rapperのボビー・ヴィランが「イスラエル国防軍に死を」というシュプレヒコールを先導したとして、捜査を開始したと発表した。ヴィランは昨年、グラスストンベリー・フェスティバルでも同じようなパフォーマンスを演じ、シュプレヒコールを先導した。この時も警察が捜査して起訴しようとしたが、検察が証拠不十分として起訴に至らなかった。

**\*アルゼンチンのハビエル・ミレイ大統領が仮想通貨「リブラ」の振興で報酬を受け取っていた疑惑：**アルゼンチンの司法当局は、ミレイ大統領が仮想通貨「リブラ」振興のために賄賂を受け取っていたらしい証拠を発見した。現在リブラは詐欺事件で捜査されている。エル・pais紙によると、捜査当局は実業家のマウリシオ・ノヴェリの携帯電話から削除

<sup>4</sup> ワシントンD・Cの官庁街で、ロビー活動の中心地。

されたメモを回復し、そこにミレイ大統領がリブラを公けに支持することに関連する500万ドルの契約が記され、後に数百万ドル相当の資金が仮想通貨ウォレットを通じてミレイ大統領のもとへ送金された。アルゼンチンと米国の検察当局は、ミレイ大統領がXでリブラを宣伝し、リブラ価格が急騰し、その後暴落した2025年2月の暴落を、数千人の投資家に損を与えたインサイダー取引による詐欺の容疑で捜査している。

**\*イラクの政治的不確実性が高まる中、戦争が再燃：**アル・クッズ・デーを記念するバグダッド集会でイランの新最高指導者を称えた。これは、イランと連携する民兵組織の間で反米・反イスラエル動員が高まっていることの反映である。米・イスラエルのイラン戦争はイラクにも波及し、最近米軍の攻撃で人民動員部隊（PMF）のメンバーが死亡し、その報復として米軍基地への攻撃を引き起こした。この暴力はイラクのシーア派体制内の政治的分裂を強化し、イラク政府が権力維持に苦慮する中、武装勢力は米軍への報復を示唆している。また、失脚したシーア派のヌーリ・アル・マリキ元首相の復権も現実味を帯びてきている<sup>5</sup>。この件に関する詳しい記事は[こちら](#)。

**\*エクアドル・米国支援で住民への軍事行動開始：**ダニエル・ノボア大統領は7万5000人の兵士を動員し、子どもたちを拘束し、20歳の男性を拷問で殺害したと報じられている。軍事行動の数日前に兵士らは数百台の街頭カメラを撤去し、通常は規制の対象外である報道記者にも午後11時以降の外出禁止令を敷いた。ミラグロ市の家族が名乗り出て、自分たちの親族のブライアン・アルヘニス・レデスマ・フランコ（20代）拷問して殺し、遺体をピックアップ・トラックに乗せたまま病院へ放置し、病院で死亡が[確認された](#)と訴えた。ノボア大統領はこの1年間で11回も非常事態宣言を発令し、事実上の戒厳令を敷き、エクアドルと米軍の兵士に広範な権限を与えている。

**\*コロンビア大統領、エクアドルが国境地帯を爆撃したと主張：**コロンビアのペトロ大統領は、国境地帯で爆弾が着弾したと述べ、攻撃は武装民兵によるものでなく、航空機によるもので、エクアドル軍の仕業だと示唆した。

## ドロップ・サイトのその他の情報

\*コロラド州第1選挙区から連邦議会選挙に出馬しているメラット・キロスがドロップ・サイトのジュリアン・アンドレオーネ記者と対談し、現職のダイアナ・デゲット下院議員に対抗する選挙運動を語った。」ドロップ・サイトは2026年連邦議会選挙候補者を[インタビュー](#)を収録したシリーズ Eyeing Office をネット配信している。

\*米・イスラエルのイラン攻撃初日にミナブの女子小学校を攻撃して少なくとも175人を殺害した件で、どの国の軍がこの攻撃を主導したのかについて、激しい論争が交わされていたが、18日現在では、進行中の軍事調査の予備調査結果で、米国に責任があることが確認されている<sup>6</sup>。

---

<sup>5</sup> トランプは、ヌーリ・マリキが次期首相に選ばれたらイラクへの援助を打ち切ると威嚇した。

<sup>6</sup> ドロップ・サイトのジュリアン・アンドレオーネ記者が各議員にこれに関してインタビューした映像がある。中には「イランがやった」と答えた議員や、「イランが核兵器を開発して核攻撃をすることに比べれば軽い事件だ」と言っている議員もいる。